ねっとわーく厚生 network

vol. 25
2018.10
公益財団法人山梨厚生会
山 梨 厚 生 病 院

■ 編集・発行 ■
山梨厚生病院　広報委員会
TEL 0553-23-1311
URL http://www.kosei.jp/

平成30年度を迎えて

公益財団法人山梨厚生会　理事長　有 泉 憲 史

平成 30 年 7 月 1 日より、山寺陽一先生が山梨厚生病院病院長に就任いたしました。外科診療部長兼任ですので、診療現場や皆さまとの距離が近い、病院の管理体制になります。同様に、浅川哲也先生が山梨厚生病院の院長補佐（副院長兼務）に、塩山市民病院では守屋卓先生が副院長に就任いたしました。

また、当会で指定管理者制度下に委託運営を行っております甲州市立勝沼病院と山梨市立牧丘病院については、山梨県が策定した地域医療構想計画に基づき、両市が、それぞれの市立病院の今後の方向性や方針を決めることになっています。今年度の峡東地区の同調整会議において、市立病院に関しての市の考えと医療施策が示されるものと思います。

院長就任ご挨拶

院 長　山 寺 陽 一

この度 7 月 1 日付けで病院長に就任させていただきました山寺陽一でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

当院は昭和 26 年 12 月に山梨療養所として開設され当初は 100 床の病院でした。その後平成 2 年 2 月の本館竣工と同時に病院名が山梨厚生病院に変更され、現在は常勤医 62 名、総職員数 875 名、病床数 497 床の病院となっております。私は平成元年 12 月に当院に赴任し、約 30 年間外科診療を続けてまいりました。

今回病院開設者の三枝勇雄先生、前任の千葉成宏先生の後を引き継ぐことになりましたが、67 年の歴史と重責を担うこととなりその職務の大きさに身が引き締まる思いであります。

近年医療を取り巻く環境は大きく変化してきておりますが、当院は開設当初から信頼される地域の中核病院を目指して取り組んでまいりました。今後もまことに微力ではありますが、全職員と手を携え、当院の理念である「やさしく・親切・ていねいに」をモットーにして、地域の皆様に満足していただける質の高い医療を提供できるよう鋭意努力してまいる所存であります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

平成30年度病院運営目標

1．診療科の円滑な連携！

高齢化の進行に伴う、複数の病気を持つ患者さん多様な症状を訴える患者さんの増加に対応し、総合診療科がない当院としてできること

＊各診療科の連携をスムーズにして、待ち時間の短縮を図ります。

＊内科を中心に他の必要な診療科医師・看護師・医療技術者等が連携をとり、入院が必要な患者さんを待たせない！不安にさせない！取り組みを強化します。

2．敷地内禁煙の推進！

改正健康増進法により、病院は『敷地内禁煙』が義務付けられます。患者さんに協力を求める前に、まず職員が率先してこれを進めなければなりません。

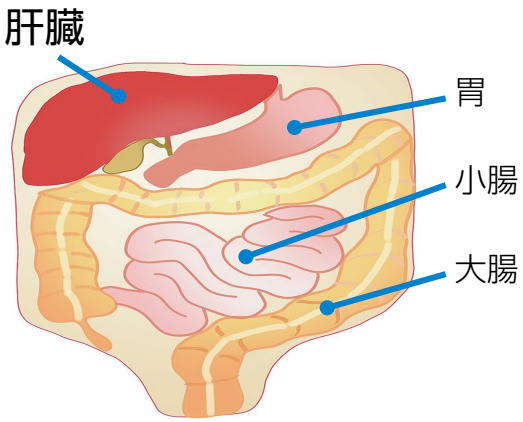
3．高度な医療の提供！

急性期医療を中心に、各診療科の専門医が専門的・高度な医療を行います。23 の専門科が連携して地域の皆様の健康を守り、峡東地域の医療の中心的役割を担います。

肝臓の腹腔鏡下手術について

外科　医長　天　白　典　秀

肝臓はお腹の臓器の一つで、お腹の右上に位置し、大きさは成人で 1200～1500 グラムほどの、体の中では最も大きな臓器です。肝臓は主に栄養分の合成、分解や、解毒作用、胆汁の産生を行う重要な臓器です。食卓に登場するいわゆるレバーは、動物の肝臓のことで、私たちの日常生活で馴染み深いものとなっております。

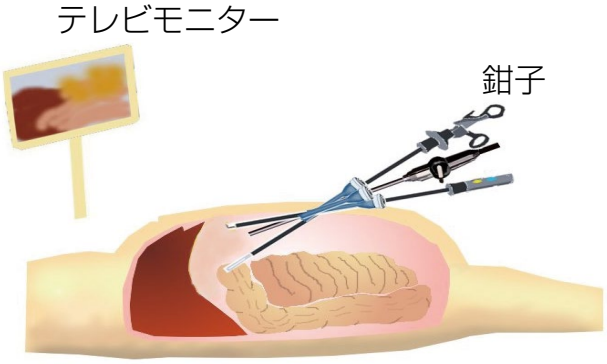


肝臓の位置

肝臓の病気の中で、肝臓に腫瘍（しこり）ができた場合に手術が必要になることがあります。腫瘍の中でも悪性腫瘍の癌が多く、原発性肝癌（肝臓自体に発生した癌）と転移性肝癌（他臓器から肝臓にとびひした癌）に大きく分けられます。原発性肝癌は主にウイルス性肝疾患やアルコール性肝疾患に伴い発生します。転移性肝癌は胃、大腸などの他臓器からの転移が原因となっております。

肝臓は再生能力が高い臓器で、ある程度手術で切除しても残った肝臓が再生し補うことができます。手術の際には各個人個人のベースの肝臓の機能と、切除範囲を厳密に計算した上で必要十分な切除する量を決定しており、安全に手術が行えるようになりました。

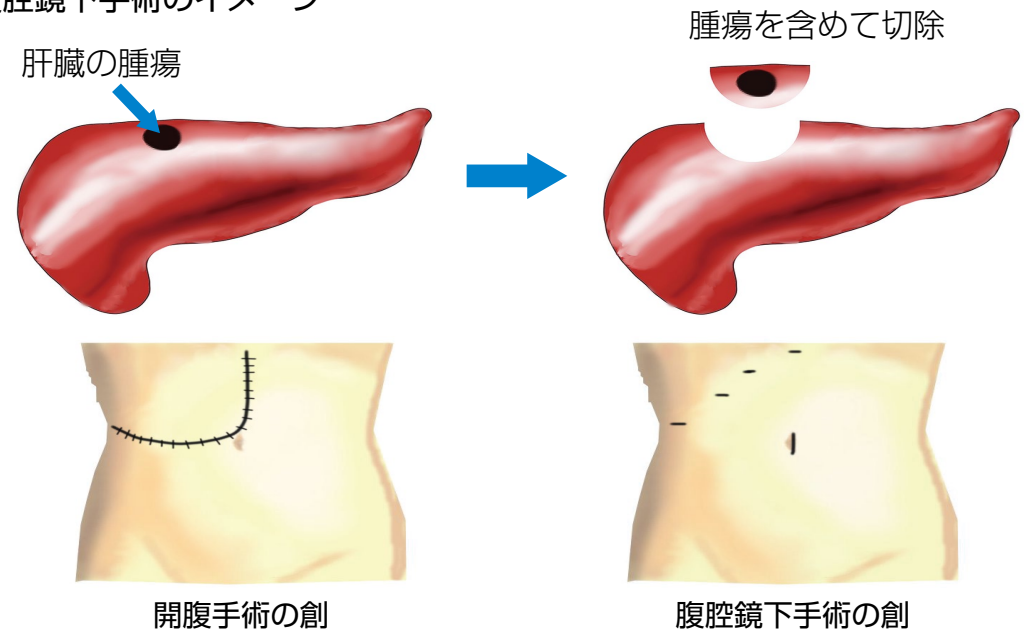
以前は肝臓の手術はお腹に 20－30cm ほどの大きな切開をつける開腹手術が中心でありましたが、近年、内視鏡を用いた腹腔鏡下手術が普及しつつあります。



腹腔鏡下手術のイメージ

腹腔鏡下手術は、腹腔鏡という専用の細長い内視鏡を用い、お腹の壁に開けた５ミリ～１センチの穴からお腹の中を外のテレビモニターに映し出し、鉗子という特殊な細長い器具を用いて行う手術です。

傷が小さいため術後の痛みが少なく回復が早いということや、臓器が拡大されて細かいところまでよく見え、より繊細な手術が可能になるというメリットがあります。



開腹手術の創　　腹腔鏡下手術の創

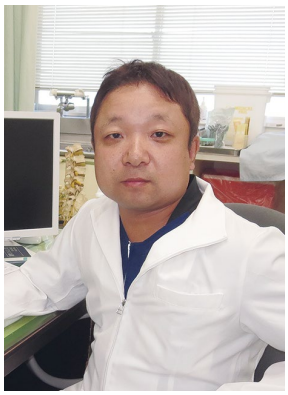
当院消化器外科では、1991 年に腹腔鏡下手術を導入し積極的に取り組んでおり、現在までに 1700 人以上の患者さんが腹腔鏡下手術を受けられ、2017 年の1年間には 258 例に達し、これは消化器外科領域では山梨県内で最も多い症例数となっております。

近年、これまでに培われた腹腔鏡下手術の技術を肝臓にも応用することが可能になっております。

肝臓の腹腔鏡下手術と聞きますと、数年前に医療事故が話題となり、不安に思われる方もおられるかと思いますが、関連の学会、研究会をあげてその不幸な事例を反省、教訓とし、厳密な施設基準を設け、技術を担保のうえ安全に行えるような仕組みを確立し現在に至っております。

肝臓の腫瘍が大きい場合や、腫瘍の位置、お腹の癒着などの状態によっては、開腹手術を選択する場合もあります。当院は腹腔鏡下肝切除術の施設基準を満たした認定施設であり、安全で確実な手術を心がけております。

新着任医師紹介



小林憶人 医師（整形外科）

今年度 4 月から整形外科医師が 3 人体制となり、新たに赴任しました小林憶人と申します。出身は横浜市ですが、山梨大学を卒業後、山梨県内の郡内地方、峡中、峡北で勤務し、今回初めて峡東地域で働けることとなりました。峡東では、整形外科の開業医の先生も比較的少なく、人材が限られているため、山梨厚生病院での医療の充実だけではなく、塩山市民病院、牧丘病院、勝沼病院との連携が欠かせない中核病院となっています。診療部長の佐藤先生、副診療部長の守屋先生をはじめ、医療スタッフ職員の皆さまと共に、少しでも地域医療に貢献できるよう努力して参りたいと存じます。まだまだ未熟者の私ではありますが、何とぞよろしくお願いいたします。

青木　正 医師（泌尿器科）

７月から働かせて頂いている泌尿器科の青木正です。出身は埼玉県東松山市です。山梨県とは縁がありまして、山梨大学に入学する前も、温泉、ぶどう狩り、山歩き、富士急ハイランド、ワカサギ釣り等でお世話になっておりました。

山梨大学卒業後は、主に大学で研修を行い、直近の２年間は長野県茅野市にある諏訪中央病院で勤務しておりました。２年ぶりの甲府盆地はとにかく暑かったですね。また、私事で恐縮ですが、現在２歳の双子男児の育児に奮闘中です。

泌尿器科医師として、地域の皆様のお力になれますように頑張りますので、よろしくお願い申し上げます。

須藤洸司 医師（循環器内科）

４月より山梨厚生病院へ赴任致しました循環器内科の須藤洸司と申します。生まれも育ちも山梨で、山梨大学卒業後は、初期研修を含め山梨県立中央病院で４年間、新潟市にあります新潟市民病院で２年間の循環器内科研修を行ってきました。改めて山梨で働くことができることを嬉しく思うとともに、充実した日々を送っております。当院の循環器内科は急性心筋梗塞などの虚血性心疾患や急性心不全といった急性期治療だけでなく、心臓リハビリテーションや非侵襲的画像診断といった慢性期の診断・管理、心房細動など不整脈に対するカテーテル治療を行うなど、幅広い診療が可能です。地域医療に少しでも貢献できるよう、日々精進して参りますので、何卒よろしくお願い致します。

杉田聖子 医師（循環器内科）

今年度より山梨厚生病院循環器内科で勤務させていただくことになりました杉田聖子と申します。山梨県甲府市出身で山梨大学医学部を卒業後、山梨大学で初期研修を行い、昨年までは市立甲府病院に勤務しておりました。大学での研修中にわがままを言って、山梨厚生病院の循環器内科で１か月勉強をさせていただきました。大変あたたかく受け入れていただき、あれから数年経ちますが、循環器内科医として一緒に勤務させていただけることを大変うれしく思っています。

まだまだ勉強中の身ではありますが、少しでも皆さまの役に立てるよう日々精進したいと思います。何卒よろしくお願いいたします。

大森一平 医師（循環器内科）

今年度からお世話になります内科の大森一平と申します。生まれも育ちも山梨県であり、愛着のあるふるさとで医療に携われる喜びを日々実感しております。

「病は気から」という言葉があります。病気は気の持ちようで良くも悪くもなるという意味です。患者様の病気に対する不安を一緒になって解決し、少しでも病気を良くしたいというのが私の医療に対する理念です。

経験も浅く至らない点も多々あるかと存じますが、浅川先生をはじめ職員の皆様に支えていただきながら患者様のために最適な医療を提供できるように尽力したいと考えています。今後とも何卒よろしくお願い致します。

新入職員を迎えました

当会では平成 30 年４月１日付で保健師１名、看護師 26 名、准看護師１名、臨床検査技師３名、診療放射線技師１名、管理栄養士１名、社会福祉士１名、環境測定補助１名、事務５名、計 40 名を採用致しました。

当会の理念である「やさしく・親切・ていねいに」の気持ちを常に持ち続け、各配属部署において、患者様をはじめ地域社会に少しでも貢献できるよう新人 40 名を含め、職員が一丸となり協力し合い、研鑽に励む所存です。何卒宜しくお願い致します。